

AIオンデマンド交通実証運行の報告

令和 7 年 1 月
杉 並 区

本日の報告事項

- **これまでの取組内容**
- **運行概要**
- **地域住民等の反応**
- **現在の利用状況**
- **今後の課題・方針**

第7回地域公共交通活性化協議会（令和6年8月開催）後の検討状況

随時	地域住民や町会への説明
令和6年10月17日	杉並警察署と現場実査
10月21日	高井戸警察署と現場実査
10月22日	サミットストア妙法寺前店において、アンケート調査の実施
10月23日	第4回杉並区AIオンデマンド交通検討部会開催 ・アンケート調査結果の報告 ・実証運行の検証項目についての協議 等
12月11日	運行事業者向け説明会
12月19日 20日	地域住民向け体験乗車会

令和7年1月8日 実証運行開始

その他、施設管理者への説明等を行い、警察の現場実査の結果を踏まえた上で、ミーティングポイントの位置や名称を決定。

中長期的な検証項目

第4回A I オンデマンド交通検討部会資料 より

定量

公共交通不便の解消

- 利用者数・属性・目的地
- バス停付近のミーティングポイントでの乗降者数
- 高齢者のトリップ数
- 外出率

定性

地域住民の福祉の増進

- QOLが上がったと感じるか
- 地域に愛着を持てるか
- 定住意向

他分野への波及

イベント目的の達成促進

- 健康イベントに参加 → 健康増進
- 参加者数増 → コミュニティ活性化

広報力の強化

- 公式LINEの登録者数

デジタルデバイド対策

- 高齢者のアプリ経由での予約の増加数

定期的に
検証
(3か月程
度)
・
改善

これまでの取組（1）

配布チラシ

A | オンデマンド交通に
乗ってみませんか？



このロゴが目印です！

◆ A | オンデマンド交通とは・・・
利用者からの予約を受けて運行する、バスとタクシーの中間の乗り物です。
1乗車300円（未就学児無料）で、
お買い物や通院など、様々な目的でご利用いただけます。

◆ 予約方法

- ・コールセンター 0572-56-5001
受付時間：午前9時～午後5時
- ・杉並区公式LINE ID：@suginamicity
受付時間：24時間



午前9時から午後5時まで毎日運行中！
詳細は杉並区公式HPをご覧ください。

杉並区役所 都市整備部管理課 交通企画係 03-5307-0793

※詳細中の画像イメージです。実際と異なる場合があります。ご確認ください。

お問い合わせ先 杉並区 都市整備部管理課交通企画係 ☎03-5307-0793

主な説明先

- ・堀ノ内町会会長・泉南町会会長
- ・堀ノ内町会役員会
- ・泉南町会役員会
- ・堀ノ内・松ノ木地区町会連合会
- ・ケア24（梅里・堀ノ内・松ノ木）センター長
- ・いきいき堀ノ内クラブ
- ・杉並社会福祉協議会
- ・ゆるゆるma～ma理事長
（ゆうゆう大宮堀ノ内館受託運営）

これまでの取組（２）

アンケート調査



体験乗車会（ゆうゆう大宮堀ノ内館）



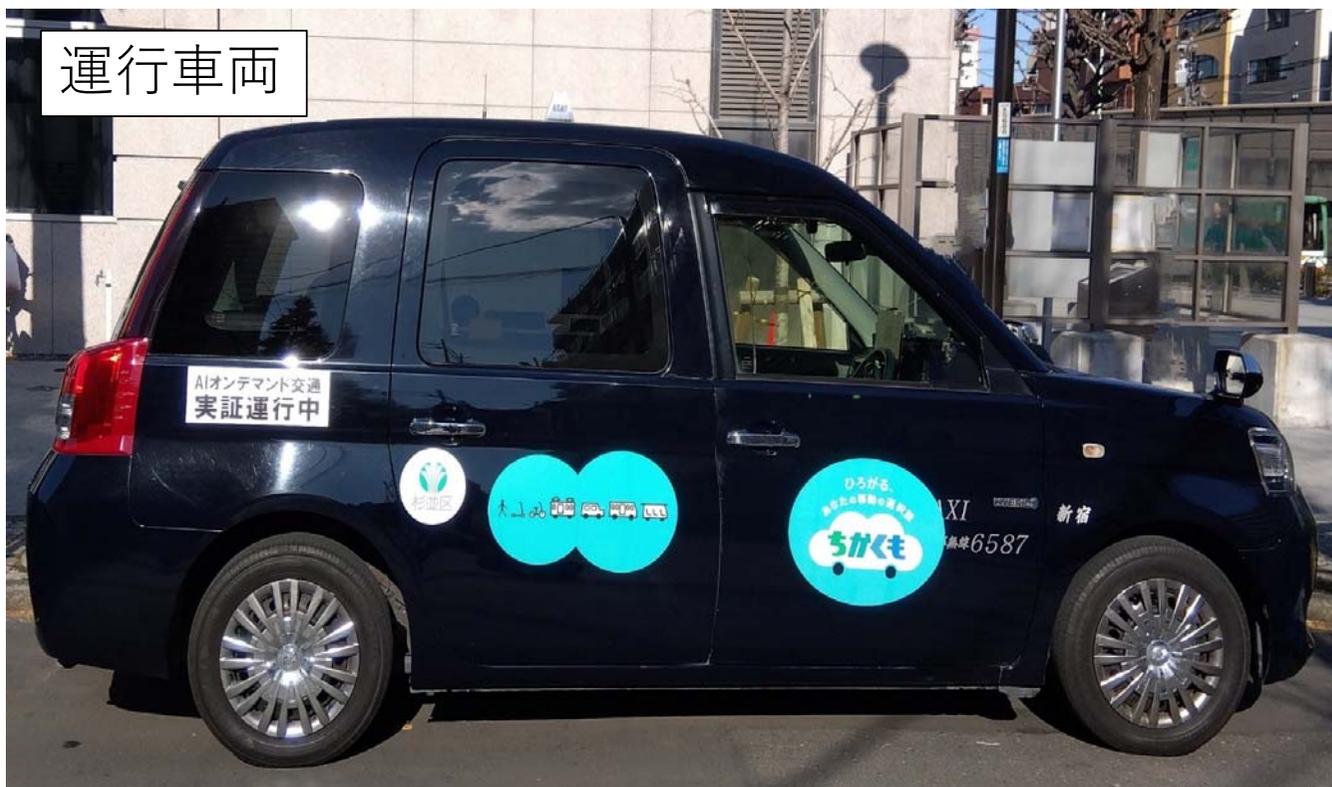
他にも、いきいきクラブや地域ケア推進会議等で、AI オンデマンド交通についての説明を行った。今後も、地域団体等の会議への出席や、地域住民に対するチラシの配布等を予定しており、区民への説明やPR活動を引き続き実施する。

運行計画

事業主体	杉並区
運行事業者	区内に営業所を持つタクシー事業者（1ヶ月おきに交代） 東都タクシー無線協同組合・さがみ交通株式会社・杉並交通第二株式会社 キャピタルモータース株式会社・三幸交通株式会社（検討中）
システム事業者	株式会社未来シェア
運行時間	9：00～17：00
運行地域	堀ノ内・松ノ木地区
運行期間	令和7年1月8日～令和7年12月31日（予定）
運賃	現金300円（未就学児無料） クレジットカードによる事前決済機能などを検討中
運行台数	1台（JPN TAXI（乗車定員4名※））※車椅子乗車の場合は2人まで
利用方法	杉並区産MaaS「ちかくも」、コールセンター 乗車前日から予約可能
乗降場所	別紙「ミーティングポイント図」参照

運行車両・ミーティングポイント

運行車両



ミーティングポイント



ちかぐも

AI オンデマンド交通
停留所

1

新高円寺駅南

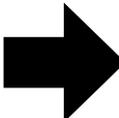
地域住民等の反応

■ A I オンデマンド交通に対する意見

- ・運行の対象となっている**区域外の病院**にも行けたら便利。
- ・もっとミーティングポイントが増えたら、**足腰の弱い人でも利用しやすい**のではないかと。
- ・**方南町駅**など、自分の行きたいところにミーティングポイントがあれば使いたい。
- ・**新高円寺駅付近**にはバスもある。新たな乗り物を**走らせる必要はあるのか**。
- ・近くでバスが運行しているので、**今後もその路線を利用するつもり**。
- ・**近隣であれば歩いていける**ので、自分には必要ないが、あれば助かる人もいると思う。

■ 移動・生活に関する課題

- ・**免許を返納する**予定があるため、今後の買い物が不安。**デマンドに期待**。
- ・バス停まで行くのにも苦勞しているため、あまり**外出していない**。
- ・自転車では小さい**子どもを連れての移動**が難しく、特に雨の日が大変。
- ・まだ移動に不便は感じていないが、一方で、**今後はどうなるか分からない**と感じる。

 子育て世帯や高齢者、障害者などの需要が見込まれ、かつ、要望の多数あった方南町駅にも近い、**和泉保健センター**にミーティングポイント増設のため働きかけを行っていく。

実証運行の現状について

利用者は、1日あたり数名程度。

顕著な利用傾向はまだ見られていない。

●アプリを利用した予約

→利用登録をしておけば、好きな時に使えるという意見があった。

●特定のポイントから特定のポイントへの往復利用

→家の近所から目的地までの利用だと仮定すると、定常的にご利用いただける可能性がある。

●病院、スーパーマーケット、駅を乗降場所とした利用

→通院や買い物、乗り継ぎを目的とした利用が考えられる。

●ゆうゆう館や郷土博物館等の施設に設置したミーティングポイント

→現状ではそれほど利用されていない。

MaaSと連携した利用促進や、各施設と協力した周知が必要。

直近の課題

課題 1 広報活動の課題

- ・ 利用者数が少ない
- ・ 傾向を掴むために、サンプル数を増やす
- ・ 移動困難者に向けたアプローチ

課題 2 運用上の課題

- ・ システムに関する課題（例：ドライバアプリのルート設定）
- ・ 運行現場における課題（例：領収書の書き方、予約と実態の相違あるときの対応）

対応策と方針

課題1 広報活動の課題

→より一層の**利用促進活動に注力**
(継続的な周知活動・地域の支援者の集まりで移動の課題把握 等)

課題2 運用上の課題

→運行データや実地調査を基に、ブラッシュアップ
(よく使われる/使われない時間帯、目的地など)

➡ 利用者の利便性向上・移動需要の底上げを目指す

改善目標（当初3か月）

定 量

1日の利用者数増加（1日10名程度）

定 性

特定の利用者に着目した行動や意識の変化

他分野への
波及

他の部署と連携したイベントの実施